

## 令和6年度「画像保存セミナー」を開催しました

2024年12月13日（金）、東京都写真美術館ホールにて（公財）日本写真学会主催の画像保存セミナーを開催しました。当館の保存科学専門員は、学会内の画像保存研究会発足当初からセミナー実行委員を務め、講演の組み立てや運営に関わっています。今回の講演は、世界最初の実用的な写真術であるダゲレオタイプ、明治期の写真と印刷、画像保存の評価の1つである耐光性試験の試験規格、デジタル化の評価手法、デジタルデータの活用、そして磁気テープについての内容の6本でした。

この中で私が注目した講演は、一般の方々にも身近な問題と思われる、「マグネティック・テープ・アラート：膨大な磁気テープ原版映像を失う前にできること」です。皆様のご自宅に眠っているVHSなど磁気テープはないでしょうか。

国連教育科学文化機関（ユネスコ）が、「磁気テープの映像を2025年までにデジタルデータ化しないと、視聴できなくなってしまうかもしれない」と警告しています。まだデジタル化サービス業は存在していますが、再生機器の製造や保守サービスは終了していますので、現在使っている機器が故障するまで！ヘッドが擦り切れるまで！が変換可能ということでしょう。

セミナーのアーカイブではないのですが、ご興味のある方は、国立映画アーカイブのサイトで関連する様々な情報がご覧いただけます。

<https://www.nfaj.go.jp/onlineservice/mtap/>（国立映画アーカイブのサイトにリンクします）

東京都写真美術館 保存科学専門員 山口